

島根県・中国横断自動車道の開通効果

～山陰と山陽の交流に期待～

日本不動産研究所 松江支所

平井 昌子

平成25(’13)年3月30日に中国横断自動車道尾道松江線の吉田掛合ICから三次東JCT・ICまでの48.7kmが開通し、中国自動車道へ直結した。今回の開通により島根県東部から広島県への所要時間は大幅に短縮され、松江市から広島市へは従来の3時間40分から2時間50分へと約50分短縮された。兵庫など関西方面から島根県東部への往来も更に便利になった。



「中国自動車道と直結した中国横断自動車道尾道松江線」

既に開通済みの有料区間である三刀屋木次IC～宍道JCT間における平成25(’13)年のゴールデンウィーク期間中の交通量は昨年の倍以上、お盆期間中の交通量も倍増しており、尾道松江線の延伸効果と見られている。出雲大社で5年にわたり行われてきた平成の大遷宮の効果もあり、出雲ICの利用者数も開通以来大きく増加している。

今回開通した区間を含む三刀屋木次IC～三次東JCT・IC間は無料区間となっており、周辺の観光地へも気軽に足を伸ばすことができる。



「尾道松江線の位置図」

開通に合わせ雲南吉田 IC に隣接して道の駅「たたらば壺番地」がオープンし、雲南地域を中心とする名産品の数々や地元で採れた新鮮な野菜が並んでいる。オープン以来、当初の想定を大きく超える観光客が訪れ、賑わいを見せている。ちなみに「たたらば壺番地」の「たたら」とは、この地域がかつて「たたら製鉄」で栄えた地であることから名付けられた。



「道の駅『たたらば壺番地』の外観」



「『たたらば壺番地』の賑わう店内」

時間距離の短縮に伴い広島・山口方面からは日帰りツアーも企画され人気のようだ。秋の行楽シーズンにも是非多くの人に山陰を訪れてもらいたい。

産業面でも活性化に期待がかかる。アクセス向上に伴う製造品出荷額の拡大に向け、企業視察や交流会が開催され、沿線地域では企業誘致に向けた新たな工業団地の計画も進められている。

平成26(’14)年度中には山陽自動車道の尾道JCTまでの全線約137kmが開通する予定で、開通後は四国も格段と近くなる。中国山地を挟み遠くに感じられていた山陰・山陽地方だが、今回の開通でぐっと身近になった。日帰りでの往来が容易になった今後は観光やビジネスなどあらゆる分野での交流が活発化し、両地方の更なる発展を期待する。